

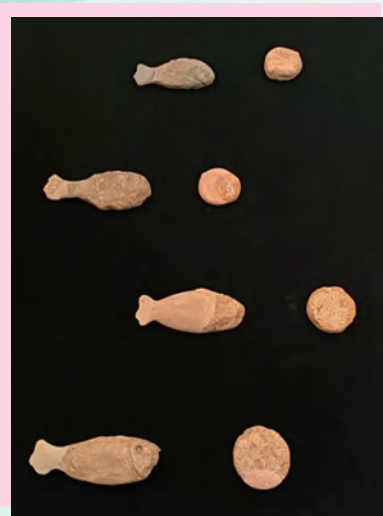
令和8年(2026年)8月1日

発行 斑鳩町議会
 斑鳩町法隆寺西3丁目7番12号
 電話 0745-74-1091 (直通)
 FAX 0745-74-1011
 E-Mail: gikai@town.ikaruga.
 nara.jp
 発行人 議会議長 中川 靖広
 編集 広報発行常任委員会

いかるが



どば
 ◀土馬 (東福寺遺跡)



▲魚形・円盤形土製品 (瓦塚1号墳)
 (奈良県立橿原考古学研究所附属博物館所蔵)

出土品に見る
 斑鳩のかわいい
 動物たち



▲鳥形埴輪 (瓦塚1号墳)
 (奈良県立橿原考古学研究所附属博物館所蔵)

6月定例会



- こんなことが決まりました…………… ②ページ
- 9人の議員が一般質問を行いました…………… ③ページ
- 委員会のうごき…………… ⑨ページ
- 意見書を提出しました…………… ⑬ページ
- 議会の新しい構成をお知らせします…………… ⑭ページ

こんなことが決まりました

第2回 定例会

令和8年6月1日～6月18日

令和8年第2回定例会では、それぞれの議案を委員会に付託し、詳しく審査しています。

議案の内容などについては、各委員会の記事をごらんください。

議運：議会運営委員会	9 ページ
建設：建設常任委員会	10 ページ
厚生：厚生常任委員会	11 ページ
総務：総務常任委員会	12 ページ



町ホームページでも議案・審議結果について、アップしています。

	定例会の案件	付託先	結 果
条例	斑鳩町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	総務	満場一致で可決
契約	斑鳩町文化振興センター高圧受電設備更新工事請負契約の締結について		
財産	令和8年度資機材搬送車の取得について		
予算	令和8年度斑鳩町一般会計補正予算(第2号)について		
	令和8年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について	厚生	満場一致で承認
	令和8年度斑鳩町一般会計補正予算(第3号)について		
承認	町長専決処分について承認を求めることについて(斑鳩町町税条例の一部を改正する条例について)		
	町長専決処分について承認を求めることについて(斑鳩町都市計画税条例の一部を改正する条例について)		
	町長専決処分について承認を求めることについて(斑鳩町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について)		
	町長専決処分について承認を求めることについて(令和7年度斑鳩町一般会計補正予算(第13号)について)		
	町長専決処分について承認を求めることについて(令和7年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算(第5号)について)		
	町長専決処分について承認を求めることについて(令和8年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について)		
同意	斑鳩町農業委員会の委員の任命について同意を求めることについて(その1)～(その14)		満場一致で同意
陳情	女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書の採択について	議運	満場一致で採択
報告	議会の委任による町長専決処分の報告について(令和8年度斑鳩町一般会計補正予算(第1号)について)		報告
	令和7年度斑鳩町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について		
	令和7年度斑鳩町文化振興財団事業報告について		
発議	女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書について		満場一致で可決

いのうえ 井上 卓也氏
 おかだ いさお 功氏
 おくの 岡田 みのる 稔氏
 きた 奥野 ひでまさ 秀匡氏
 喜多 まさみ 昌巳氏
 さわだ 澤田 やすひろ 康裕氏
 つかはら 塚原 のりよし 敬可氏
 なか 仲 のぐち えいじ 英治氏
 のぐち 野口 はるよし 晴義氏
 ひでた 秀田 かずひろ 和洋氏
 みづね 三船 よしかず 義和氏
 やすい 安井 ひろかず 博一氏
 やすむら 安村 まさひろ 勝弘氏
 やまぐち 山口 かつじ 勝治氏
 よしなか 吉中
 を任命することに同意

13ページ
に意見書

一般質問とは、議員が町の行政全般について質問し、是正を求めたり、新たな施策の提案を行ったりするものです。

本定例会での一般質問は、6月4日・5日の両日、9人の議員が行いました。質問と答弁の内容を要約し、お知らせします。

※紙面の都合により、◎の質問のみ掲載しています。

一般質問 Q&A

齋藤文夫・3ページ

- ◎下水道事業の今後について
- 子どもの視力を守る対策について

- 障害者への就労支援について
- 自治会の持続可能な活動への支援について

木澤正男・4ページ

- ◎生活応援券の生活保護収入認定問題への対応について
- ◎JR法隆寺駅無人化問題への対応について

- ウォーターPPPについて
- 小中学校の学級編制と教員・事務職員の配置について

- 第4次男女共同参画推進計画について

横田敏文・5ページ

- 斑鳩町歴史的風致維持向上計画の進捗について

- ◎無形民俗文化財について

奥村容子・5ページ

- ◎災害時の環境衛生確保について

- 命を支える仕組みを学ぶ教育について

- 生命の安全教育の充実に

井上卓也・6ページ

- ◎子ども食堂の支援の充実について

小城世督・6ページ

- 生成AI時代を見据えたデジタル人材育成について
- ◎将来を見据えた持続可能なまちづくりについて

濱真理子・7ページ

- ◎生理休暇について
- トイレカーについて
- 避難所開設キットについて

伴吉晴・8ページ

- ◎中東情勢に関わる当町への影響について
- 学校の運動場の芝生化について

溝部真紀子・8ページ

- ◎電子母子手帳について
- ハラスメント対策について



下水道事業の今後について



齋藤 文夫

議員 下水道事業は、平成4年から管路等の整備工事を始め平成17年から供用開始され、令和6年度末で普及率は73・1%、接続率は76・3%になった。整備工事を始めた頃は企業債残高が膨らんだが、令和元年頃から減少傾向にあり、令和6年度末で約78億円にまで減少した。しかし、毎年、一般財源から5億円程度繰入れていく。下水道の接続率を上げて、使用料収入を増やす対策、効率的で効果的な管路等の布設や維持管理が必要である。

都市建設部長 未接続の家屋への訪問や接続啓発チラシの配布などで、生活環境

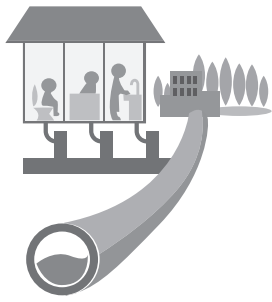
の向上や浄化槽維持管理費用との比較といった下水道接続の必要性や効果について周知・啓発を行ってきた。今後も、相談しやすい環境づくりにも取り組んでいく。

議員 下水道管路等の老朽化対策は、いかがか。

都市建設部長 供用開始から経過年数が比較的短く、現時点では老朽化に起因する重大な事故等の発生リスクは低い。施設の状態を的確に把握をしながら予防保全型の維持管理に取り組んでいく。

議員 合併浄化槽設置補助金交付枠を増やし、生活排水による水質汚染を防止する対策は、いかがか。

都市建設部長 公共下水道事業計画区域外の地域を対



象に国・県の補助事業を活用し、国・県・町それぞれ約3分の1の負担で補助金を交付している。予算枠を超える申請があった場合には、適宜、県に相談し国・県の予算状況等に応じ可能な範囲で追加要望を行い対応している。

議員 浄化槽の悪臭防止対策は、いかがか。

都市建設部長 浄化槽を起因とする悪臭等の相談があれば、指導権者である奈良県と協力し、現地確認、指導等を行い、悪臭防止、浄化槽の適正な維持管理の推進に努めるとともに、相談者に対して結果や経過措置などの連絡も含め、適切な対応を行っている。

生活応援券の生活保護

収入認定問題について



木澤 正男

議員 奈良県中和福祉事務所が県下の各自自治体が発行している地域振興券（当町では生活応援券）に対して8千円を超える分は収入認定し、生活保護費から減額しようとしていることが発覚しました。

なぜ中和福祉事務所はこのような対応をしようとしているのでしょうか。

住民生活部長 中和福祉事務所に確認したところ、厚生労働省から通知があり、支給対象者一人につき、8千円以内の額については収入として認定しない取扱いをするという基準が示されているとのこと。

ただし、額の範囲について、これにより難い場合は厚生労働大臣に情報提供す

ることとされており、中和福祉事務所においても直ちに収入認定する取扱いを行わず、県において各市町村や福祉事務所の状況を取りまとめ、国と協議を行なっているところ。

議員 日本共産党の衆議院議員の確認により、きちんと手続きを踏んで情報提供すれば収入認定しないと厚生労働省がはっきり言っていますので、ぜひ町としてその方向で必要な手続きを行い、国と協議をしていただきたいと思えます。

JR法隆寺駅無人化問題への対応について

議員 JRは全国的に人件費を削減するため、窓口の縮小・廃止とともに駅の無人化をすすめています。

今年の4月1日からJR平城山駅が無人化されたことで、いよいよJR関西本線にもその流れがきているのではないかと考えます。

JRから町に対して法隆寺駅の人員配置を変更するとの話は聞いていますか。

都市建設部長 現在のところ、そのような話は受けていません。

議員 今後、JRから無人化の話があったときに住民にとつてできるだけ不利益にならないよう、町としてJRに対応を求めているただくことを要望します。



議会を傍聴してみませんか？

斑鳩町議会では「開かれた議会」をめざしています。

みなさんの選んだ議員が、議場や委員会でのどのような発言をし、行政はどう答えているのか、みなさんご自身でお確かめください。

また、事前に通告された一般質問の要旨は、斑鳩町ホームページの「斑鳩町議会」に掲載しています。



【一般質問要旨】

無形民俗文化財 調査検討の状況



横田 敏文

出すことが難しく、国または県の指定・登録文化財とすることは困難との見解をいただいております。

登録は指定機関側から提案される制度であり、登録は難しい状況ですが、現在、「新修 斑鳩町史」の編さんに伴い、斑鳩神社の秋祭りの現状把握や詳細調査を進めているところであり、まずは調査成果を取りまとめ、その成果を基に、当該祭礼が持つ文化的価値の情報発信や周知啓発の取組みに努めてまいります。

議員 法隆寺の祭礼や伝統行事、斑鳩神社の秋祭りなどにおける現状把握や詳細調査について、具体的にどのような対応をされているかご教示ください。

議員 斑鳩神社の秋祭りにみる歴史的風致の無形民俗文化財の登録について調査検討の状況をお伺いいたします。

都市建設部長 県の文化財担当課と、当該祭礼の文化財指定・登録に向けた協議を行ってまいりましたが、現状では、指定要件のひとつである顕著な独自性を見

子を画像や映像等での記録保存を行っております。また、祭礼の関係者から直接お話を伺い、歴史的な成り立ちや言い伝えなどの調査も行っております。

なお、この調査結果については「新修 斑鳩町史・下巻」に取りまとめる予定で作業を進めています。

議員 斑鳩神社・龍田神社の秋祭りは、地域のコミュニティの醸成に大いに貢献しています。

また、「斑鳩ファン」獲得のためにも、引き続き調査研究・情報発信に努めていただくようお願いいたします。



▲秋まつりのようす

トイレトラック導入に 向けた調査・研究について



奥村 容子

議員 能登半島地震では、避難所におけるトイレ環境

の悪化が深刻な問題となり、災害関連死との問題も指摘されています。

そのような中、近年全国で導入が進み始めているのがトイレトラックです。

トイレトラックは、水洗式で衛生的であり、女性や高齢者にも配慮した個室、バリアフリー対応、手洗い設備、照明などを備え、目的地向かって迅速に移動できる特徴があります。

平時には、防災訓練やイベント等に利用する自治体も増えています。

災害時のトイレ環境は、設備だけの問題ではなく、命と尊厳を守る問題でもある

ります。災害弱者を置き去りにしない視点がこれからの防災行政には必要なのではないでしょうか。

国の補助制度や国土強靱化関連の交付金なども研究しながらトイレトラック導入について、調査・研究をしていかれるお考えはあるかお伺いします。

総務部長 トイレトラックにつきましては、車両搭載型であることから、災害現場へ迅速に移動し、直ちに衛生的なトイレ環境を提供できるという点において、非常に有効な選択肢の一つであると認識しております。一方で、導入にあたりましては、車両購入・維持管

理に係る経費、運転要員の確保と適切な免許取得、災害時における迅速な運搬・運用体制の整備といった多くの課題を十分に検討した上で、判断する必要があると考えております。

こうした状況を踏まえ、町民の皆様が災害時にも安心して避難生活を送ることができるよう、国の補助制度や近隣自治体の導入事例、運用状況等を参考にしながら、より効果的なトイレ環境の整備について調査・検討してまいります。

議員 災害時に住民の皆様にとって、町にとって最適なトイレ環境の充実、衛生確保に向けて、調査・研究をよろしくお願いいたします。



子ども食堂の支援充実を



井上 卓也

議員 現在、町内では3つの団体が子ども食堂を運営されています。

単なる食事の提供にとどまらず、多世代交流の拠点として、また子どもたちの孤立を防ぐ「地域の居場所」として、その意義はますます深まっています。

物価高騰が続く中、ボランティアの皆様の献身的な努力によってこの活動が維持されていることに、深い敬意を表します。

斑鳩町においては、令和3年度から、子ども食堂事業補助金制度を導入され、現在、町内で活動する3団体に対して、1か月につき5千円を上限に補助を行い、活動促進をはかっています。

しかし、昨今の食材費の高騰や運営にかかる光熱費等の負担を考慮しますと、各団体が持続可能な運営を継続していくことが困難になりつつあるのではないのでしょうか。

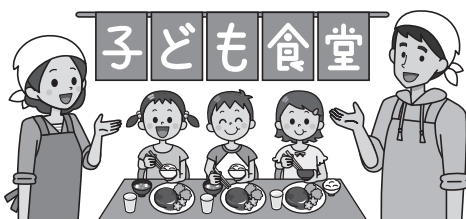
町は、今後、子ども食堂への支援の拡充について検討されていますか。

住民生活部長 子ども食堂は単に食事を提供する場にとどまらず、多世代交流の拠点として、また子どもたちの孤立を防ぐ「地域の居場所」として、本町にとっても極めて重要な役割を果たしていただいております。また、昨今、物価高騰により食材費や光熱費の負担が増大する中で、団体の皆

様が、限られた運営資金の中で、子どもたちのために様々な工夫をしながら活動を継続されており、行政として支援の充実を検討すべき時期であると考えております。

こうした現状を踏まえ、子ども食堂の活動を、より安定的かつ持続可能なものにするため、現在、次年度の予算編成に向けて、補助制度の充実を検討しています。

議員 子どもたちの健やかな成長を町全体で支えるためにも、今後、子ども食堂に対して、できるだけ手厚い支援を検討されることをお願いします。



未来を見据えたまちづくり



小城 世督

議員 全国的に人口減少や少子高齢化が進む中、斑鳩町は約40年間にわたり人口規模を維持してきました。これは子育て支援など、

これまでのまちづくりの成果であると考えます。一方で、今後20年から30年先を見据えると人口減少や高齢化は避けられません。そこで、人口推移の結果分析と

今後の見込み、取り組むべき課題をお伺いします。

総務部長 近年は子育て世代を中心とした転入が多くなっていますが、今後は人口減少と高齢化が進み、2050年には高齢化率36・5%に達する見込みです。

そのため、現在の人口が維持されている時期を将来への重要な準備期間と位置付け、長く愛着を持って住み続けられるかという、定住の質の向上が課題と考えています。

議員 将来のまちの価値を高めるために、公共施設や道路等のインフラの維持管理及び、地域コミュニティ維持の方針、さらに歴史的文化資源などを生かした取り組みについてお伺いします。

総務部長 公共施設については長寿命化や適正配置を進めるとともに、道路や下水道など生活に欠かせないインフラの整備、維持更新を行い、コミュニティ環境の整備と活動機会の創出に取り組みます。また、世界遺産法隆寺をはじめとする

歴史文化資源を活用し、観光振興や地域経済の活性化を進めることで、訪れたい、住み続けたい、住んでみたいまちへと発展させたいと考えています。

議員 人口を維持している今こそ、未来への投資を進めるべき時です。人口が減ってから対策を講じるのではなく、今の安定した状況を将来への安心につなげることが重要だと考えます。2050年の斑鳩町を見据え、子どもたちが誇りを持って住み続けられるまち、高齢者が安心して暮らせるまち、そして歴史や文化、地域の魅力によって町外からも選ばれるまちの実現に向け、長期的な視点に立ったまちづくりを進めるよう要望いたします。



労働基準法における

生理休暇について



濱 眞理子

労働基準法での内容をお聞きます。

総務部長 労働基準法では「使用者は、生理日の就業が著しく困難な女性が休暇を請求したときはその者を就業させてはならない」と定められており、取得日数は限定されておりません。生理による不快な症状が強い状態にある女性労働者本人から休暇の申し出があった場合、事業主は、法律上、必ず休ませなければならぬ規定となっており、労働基準法における母性保護措置のひとつであります。

議員 生理休暇の基本ルールについてお聞きます。

総務部長 雇用形態や職種に関わらず、すべての女性

労働者が対象となります。

議員 女性町職員の生理休暇取得をお聞きます。

総務部長 令和7年度の女性の正規職員106人（有給の特別休暇）、会計年度任用職員237人（無給の特別休暇）のうち生理休暇の取得は、正規職員の15日3時間のみでした。

議員 初潮を迎えた児童・生徒への指導についてお聞きます。

教育次長 本町の小中学校では、保健体育科の授業等を通じて学ぶ機会を設けています。児童・生徒が安心して快適な生活を送れるよう、引き続き発達段階に応じた指導・支援を行ってまいります。



中東情勢に関わる 当町への影響について



伴 吉晴

認識し、今後どのような対策を講じるのか、見解を伺います。

総務部長 国際的な経済情勢の不安定化に伴う物価・燃料価格の高騰は、本町の行政運営にも多大な影響を及ぼしております。

特に、インフラの維持や公共サービスの安定供給に不可欠な総合保健福祉会館の空調改修、指定ごみ袋の作成、公用車更新などの事業において当初予算や納期での対応が困難な状況となりました。

そのため、本定例会への必要な補正予算案を上程しております。

議員 現在、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格や物価の高騰が続いています。

これは単なる国際情勢の話ではなく、私たちの町における公共事業の実施、公共施設の管理、そして住民一人ひとりの生活に直結する切実な問題です。

この現状を町としてどう

どのような対応を考えているのか伺います。

総務部長 今後の見通しにつきましては、極めて不透明である認識しており、国や県、市場価格の動向を常に注視し、情報収集に努めてまいります。

その上で、住民生活に不可欠なサービスを最優先としつつ、必要に応じて契約内容の見直しや発注時期の調整を行うなど、柔軟かつ円滑な事業執行に努め、持続可能な行政運営に取り組んでまいります。

議員 この質問で申しあげたいのは、的確な判断と情報公開を行い、住民に不安を与えないようにすることが、このような不安定で先が見えにくい時に必要なことだと考えます。



電子版母子健康手帳の 導入について



溝部 真紀子

議員 電子版母子健康手帳を導入した場合、利用する住民にとってどのようなメリットがあると認識されていますか。

また導入に当たって想定される課題について伺います。

住民生活部長 利用者側のメリットといたしましては、健診や予防接種記録を紛失せずいつでも確認できる利便性に加え、転居時のデータ引き継ぎが容易になること、災害・救急時等にも医療機関等で迅速に必要な情報を確認でき、より適切な医療を受けることが可能になります。

また、予防接種スケジュールの自動作成やプッシュ

通知による自治体からのタイムリーな支援、行政への電子申請など、デジタル化により保護者の負担軽減と子育て支援の質の向上が期待できる点でございます。

課題として考えられますのは、市町村単独で導入した場合には、転出等に伴うアプリ変更により、保護者自身が記載してきた成長記録の移行等が制限されることでありますが、その解決に向けて、現在も検討されているところでございます。

議員 現在、国が進めている電子版母子健康手帳の導入は、従来の紙の母子健康手帳を電子版へ完全に置き換えることを目的にしているのか、それとも紙の

母子健康手帳との併用を前提としているのか伺います。

住民生活部長 現在のところ国から紙の母子健康手帳を廃止するという通知はございません。

現時点での政府の方針は、あくまでもデジタル技術の活用により、自治体間のデータ連携や転入・転出等の事務負担を軽減し保護者の利便性を向上させる環境整備が目的でございます。

今後も紙の手帳を大切に使い続けたい方やデジタルの便利さを生かしたい方など、それぞれのライフスタイルに合わせて選べる併用が基本となります。



議会の日程

閉会中の委員会

事情により開催しない場合もありますので、議会事務局にお問い合わせください。

8月18日(火) 建設常任委員会

19日(水) 厚生常任委員会

20日(木) 総務常任委員会

25日(火) 議会運営委員会

令和8年9月議会

8月31日(月) 本会議初日

(委員長報告、提案説明、議案上程)

広報発行常任委員会

9月3日(木) 一般質問

本会議初日に町ホームページに一般質問の要旨を掲載します。

4日(金) 一般質問

7日(月) 決算審査特別委員会

8日(火) 決算審査特別委員会

9日(水) 決算審査特別委員会

10日(木) 建設常任委員会

11日(金) 厚生常任委員会

15日(火) 総務常任委員会

17日(木) 議会運営委員会

25日(金) 本会議最終日(委員長報告、討論、表決)

議会は、役場3階です。すべて傍聴できます。

傍聴席では、周囲の方と適度な間隔を空けてご着席ください。

開会時間は、午前9時を予定しています。

(広報発行常任委員会は本会議終了後)

日程・時間は、一部変更になる場合があります。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

議会事務局 ☎(74)1091(直通)

委員会のうごき

6月15日、全委員出席のもと委員会を開催し、本会議から付託を受けました陳情について、満場一致で採択すべきものと決しました。



会運営委員会

委員会付託議案

◎女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書の採択について

日本は、女性差別撤廃条約を41年前に批准したが、その実効性を強化するため、に作られた選択議定書は未だ批准されておらず、国連の女性差別撤廃委員会の日本政府報告審議で、批准への障害に対し、速やかに対処するよう勧告されており、選択議定書の批准を進めるために、国に対して意見書の提出をされたいとの陳情がありました。

今回、要望されている内容については採択すべきとの意見が出され、他の委員からも特段の反対意見は無く、満場一致で採択すべきものと決し、委員会発議により意見書を本会議に提出することとなりました。

(P13に意見書)

(嶋田委員長記)

建

設常任委員会

6月8日、全委員出席のもと建設常任委員会を開催しましたので、その概要を報告します。

継続審査

○都市基盤整備事業に関するについて

いかるがパークウェイの令和8年度当初予算として6億円が計上され、五百井・興留区間における工事費や調査設計費等が示されたとの報告がありました。

(問) 交差点整備を含めた県道大和高田斑鳩線までの区間の工事完成予定は。

(答) 国から明確な整備時期は示されていない。

○斑鳩町における発掘調査等の文化財の調査、保存及び活用に関するについて

斑鳩町文化財センターの

各課報告事項

○令和8年度斑鳩町一般会計補正予算(第2号)について

当委員会の所管に関することについて、秋葉川の井

堰改修工事に係る増額補正や国の地域農業構造転換支援事業が採択されたことに伴う増額補正、また、クビアカツヤカミキリによる被害木への対策について国庫補助の採択があったことに伴い財源更正を行うこと。

また、半導体不足の長期化等により公用車購入事業について繰越明許を行うこと等が報告されました。

○広域的なバス路線の維持・確保・改善に向けた取組について

奈良交通が運行している路線バスが利用者の減少、ドライバー不足などの理由により、不採算路線の再編を行うとして、本町にかかる路線についても一部運行を取りやめる方針を打ち出しており、令和8年10月1日から実施する予定であるとの報告がありました。

○一般国道25号歩道設置事業について

竜田大橋東詰交差点から猫坂交差点までの区間にお

いて、令和7年度に歩道未整備区間の2件の地権者から用地協力について合意が得られ、建物の解体が行われた。その後、令和8年4月9日から令和9年1月29日を工期として準備工が進められており、今年度、歩道整備事業用地内へ公共下水道及び上水道管を布設した後、歩道整備工事が実施される予定である。今回の工事で北側2.5m、南側1.5m、1.7mの歩道が確保される見込みであることが報告されました。

○令和7年度斑鳩の里観光案内所(法隆寺・iセンター)及び斑鳩町観光自動車駐車場指定管理者事業報告について

令和7年度から、株式会社呉竹荘を代表法人とする法隆寺・iセンター管理運営グループが指定管理者として施設の管理運営及び町の観光振興に係る事業を行っており、令和7年度では、収支差額が7万3,257円であったとの報告があり

ました。

○斑鳩町マルシェ・宿泊施設等事業者誘致事業について

新たに建設される宿泊施設の概要や開業までのスケジュールについて、施設の名称が『法隆寺 呉竹荘 水煙(すいえん)』となる予定であることや、開業時期は令和8年10月1日を予定していることなどが報告されました。

◀工事のようす(2024年6月撮影)



その他

・斑鳩町史・中巻と下巻の発行時期について

(木澤委員長記)

6月9日、全委員出席のもと厚生常任委員会を開催しましたので、その概要を報告します。

本会議から付託を受けました1議案は、満場一致で原案どおり可決すべきものと決しました。



厚生委員会

委員会付託議案

◎令和8年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について

介護保険制度改正に伴う介護保険システム改修のための費用として、保険事業勘定で、歳入歳出それぞれ140万3千円を増額するものです。

継続審査

○環境保全及びごみ減量化・資源化の推進に関することについて

令和7年度の廃棄物・資源物の排出量の実績、および戸別収集の全町実施について報告がありました。前年度に比べ家庭系と事業系の総排出量は、約6,161tで、令和6年度に比べ0・8%の減少、資源化率は可燃ごみの一部をメタン発酵処理等により、前年度比11・8%増の80・7%となったことが報告されました。

各課報告事項

また、本年10月からの家庭系可燃ごみ・生ごみの戸別収集を全町的に実施することについて、収集方法、スケジュール等、報告がありました。

委員等より、生ごみの増加と可燃ごみの減少とモデル事業との関係、戸別収集モデル地区での課題、広報での周知方法等について質疑がありました。

○令和8年度斑鳩町一般会計補正予算(第2号)について

当委員会所管にかかる事項の報告を受けました。

○令和7年度国民健康保険税の不納欠損について

全体で実人数44人、502万4,064円の不納欠損処分を行ったと報告がありました。

○令和7年度介護保険料の不納欠損について

全体で実人数27人、101万7,240円の不納欠損処分を行ったと報告がありました。

○令和7年度後期高齢者医療保険料の不納欠損について

全体で実人数6人、24万1,800円の不納欠損処分を行ったと報告がありました。

不納欠損とは・・・

税や保険料などの公的な債権において、滞納処分する財産がないなど、今後も回収の見込みがないものについて、法律の規定により、納入義務を消滅させたものを、会計上、徴収不可能なものとして処理・除外することです。

その他

・クーリングシェルターの現状・周知について

(濱委員長記)



○ヤクルト配布の「愛の訪問サービス」の終了について

○塵芥収集車エンジンストールに伴う損害賠償請求事件について

○民間保育施設の保育定員拡大に係る施設改修の支援について

総務常任委員会

6月10日、全委員出席のもと、総務常任委員会を開催しましたので、その概要を報告します。
本会議から付託を受けました4議案は、いずれも満場一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

委員会付託議案

◎斑鳩町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令が施行されたことに伴い、所要の改正を行うものです。

◎斑鳩町文化振興センター高圧受電設備更新工事請負契約の締結について

斑鳩町文化振興センターにおける高圧受電設備更新

◎令和8年度斑鳩町一般会計補正予算(第2号)について

補正予算の主な内容は、中東情勢などの影響に伴う資材等の高騰による各事業に関する補正のほか、職員用端末機器の追加購入や斑鳩小学校校舎の経年劣化に伴う安全対策、各公共施設におけるクビアカツヤカミキリ被害木への対策などに関する補正を行うものです。
委員から、繰越明許費の扱い等について、質疑があり、理事者から答弁がありました。

各課報告事項

○令和7年度町税不納欠損処分及び町税収納状況について

令和7年度の町税不納欠損処分及び町税収納状況について報告があり、不納欠損処分は実人数で42人、合計162万802円であり、町税の収納率は98・7%と報告がありました。

委員等から、固定資産税の不納欠損処分の考え方等について質疑があり、理事者から答弁がありました。

○令和7年度斑鳩町文化振興センター指定管理者事業報告について

施設管理運営費の収支報告、施設利用状況について報告がありました。

委員から、正味財産期末残高等について質疑等があり、理事者から一定の答弁がありました。



▲いかるがホール
(斑鳩町文化振興センター)

○令和9年4月1日採用の職員採用試験について

○子ども議会の開催について

(伴委員長記)

議会の議案書を閲覧できます

議会に上程された議案書は、役場3階の議会事務局で閲覧することができます。
それぞれの議案について詳しく知りたい場合は、役場3階の議会事務局までお越しください。

議会事務局 (☎74-1091・直通)

関係機関に 意見書を送付

6月定例会では「女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書」が委員会発議され、満場一致で可決され、関係機関に送付しました。

女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書

国連は1979年にあらゆる分野で女性が性に基づく差別を受けない権利と平等の権利を保障する女性差別撤廃条約を採択し、日本は1985年に同条約を批准しています。

その後、女性差別撤廃条約の実効性を強化し、女性が抱える問題を解決するため、1999年に国連で採択されたのが「女性差別撤廃条約選択議定書」です。

選択議定書は、国連の女性差別撤廃委員会による個人通報制度と調査制度を設けており、議定書を批准することによって、締結国は被害者救済に向け具体的な措置を取るよう同委員会から要請されるため、国際的な人権基準に基づき女性の人権侵害の救済や性別による不平等をなくすための効力が強まることが期待されます。

しかし、女性差別撤廃条約の締結国189か国のうち、116か国が選択議定書を批准している中で、日本はいまだ批准に至っていません。

各国における男性に対する女性の割合を示す2025年のジェンダー・ギャップ指数の日本の総合順位は、148か国中、118位であり、国際的には政治・経済分野における女性の参画の遅れが顕著となっています。

選択議定書の批准は、この現状を変え、わが国の女性の権利を国際基準にする重要な第一歩です。よって、国におかれては、「女性差別撤廃条約選択議定書」を速やかに批准されることを求めます。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

.....町ホームページで議案・審議結果をアップしています。.....

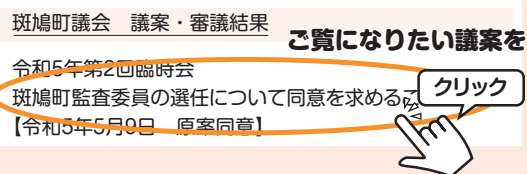
1 斑鳩町 検索



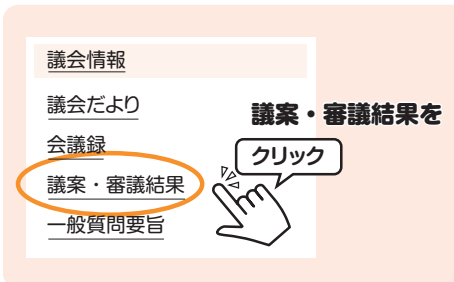
2 トップページ



4



3



斑鳩町ホームページ

<https://www.town.ikaruga.nara.jp/>で「斑鳩町議会」をクリックしてください。

議会情報の「議案・審議結果」で、令和4年第1回定例会以降の議案の概要と結果がご覧いただけます。



議会の新しい構成をお知らせします

5月8日に議会役員等の選任を行いました。新しい議会の構成は下記のとおりです。

(議席順)

総務常任委員会

委員長	伴 吉晴
副委員長	溝部真紀子
委員	坂口 徹
//	嶋田 善行
//	宮崎 和彦
//	木澤 正男

町の総合計画や行政改革、防災計画、コミュニティ、財政計画、財産管理、町民税、固定資産税、小・中学校、幼稚園、生涯学習、文化振興に関する事等についての調査や、議案・請願等の審査をします。

議会運営委員会

委員長	嶋田 善行
副委員長	溝部真紀子
委員	齋藤 文夫
//	小城 世督
//	井上 卓也
//	横田 敏文
//	奥村 容子

定例議会の会期、議事日程や議事進行に関する事、請願・陳情の処理に関する事、意見書の提出等議会の対外的問題に関する事等、その他議会運営上必要と認める事項や、他の委員会に属さない事項の審査、調査をします。

議長	中川 靖広
副議長	井上 卓也
監査委員	嶋田 善行



本会議・委員会の開催日程は9ページをご覧ください。

厚生常任委員会

委員長	濱 真理子
副委員長	奥村 容子
委員	溝部真紀子
//	齋藤 文夫
//	坂口 徹
//	井上 卓也

保健事業、児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉、介護保険、国民健康保険、ごみ問題、環境対策、住民登録・戸籍に関する事等についての調査や、議案・請願等の審査をします。

建設常任委員会

委員長	木澤 正男
副委員長	小城 世督
委員	齋藤 文夫
//	井上 卓也
//	横田 敏文
//	宮崎 和彦

道路、河川、橋梁、町営住宅、農業、建築開発に伴う規制、公園・緑地、駅前整備、都市計画道路、地域公共交通、観光、商工業、文化財、下水道に関する事等についての調査や、議案・請願等の審査をします。

広報発行常任委員会

委員長	濱 真理子
副委員長	嶋田 善行
委員	小城 世督
//	伴 吉晴
//	横田 敏文
//	奥村 容子

議会広報の編集、発行に関する事務をします。



▲令和8年度の広報発行常任委員会委員

編集後記

法輪寺南の駐車場を右手に見ながら更に進むと、銀杏の大木が現れてきます。樹齢はわからずとも根元から伸びる二本の幹は、秋とあなたのおいでを待っています。
(濱委員長記)